

2021/7/22

(オマケの英語教室) 書庫版

Press



コロナ禍前のその又前のお店を始める以前、つまりお金に今ほど酷くは不自由していなかった頃、ふと思立って箱根へロマンスカーで行きました。

因みに自分は小田急線沿線の新百合ヶ丘が最寄り駅で、箱根までそんなにお金がかからなかった事もある「この際だ」と思い切って行くことにしたのです。

その箱根へ向かうロマンスカーの車中での出来事。

恐らくシンガポールか何かの中国系と思われる家族が乗っていて、しきりに話をしているのですが、後ろの席の家族がいちいち身を乗り出すように前の席の家族に話しかけるもの

ですから、なんとなくこちらが落ち着かず、又それではこの家族も不便だろうと思ったので

Press the pedal down, you can turn your seat. Then you can talk to each other face to face in one box style.

(座席のペダルを押し下げると(踏むと)席を回せますよ。そうすればワンボックスみたい

に向き合ってはなせますから)と教えてあげました。

よく分かりませんがシンガポールはとても狭い国土なのであまり観光列車等は走っていないので、そういうことは全然知らなかったみたいです。

Wow great!! Thank you so much

(わあ、すごい。どうもありがとう)

実はこう話しかける前に、自分はずいぶんと悩んでいました。

「ペダルを踏む」の英訳は push the pedal down がいいのか、それとも他に何か?

Push だと手で押すみたいな感じがして何か違う気がしました。押す方向も下方向以外に横

方向もありそうな感じだし等など。

で、ふと思いついたのが「プレス加工」や「プレス金型」で使っている press という単語で

した。

なんでこんな単語を知っていたかというと商品企画部時代にプラスチック製品の成形を扱う金型の設計をする機構部門と散々やりとりをしていた事があったからです。

「press ならまずほぼ 100%加圧方向は下方だし、押すのでも push と違って相当な力がかかる感じがする。だから手じゃなくて足で踏む感じが出ていいかもしれない」

そう思って press the pedal down と言ったのです。

戦々恐々で声をかけましたが、思いのほかスムーズに会話は成り立ちました。

自分は今外国人従業員と毎日仕事をしておりますが、実は 38 年前のたった 2 週間の海外出張を終えて帰国した後、出張中全工程を通して、余りに英語がしゃべれなかったのでショックを受け、その後暇さえあれば

「こんな場合、英語でなんて言えばいいんだろう」

とか

「同じ日本語でも（例えば今回は「押す」です）こういう場合はどっちの英単語を使えばいいのだろうか」

等を、辞書を見ずにしょっちゅう考えていて、アタマの中の架空の外国人に向かって何度もロールプレイングやリハーサルをやっていたのです。

途中うつ病だった 12 年とお店を始めて以降の 4 年間、合計 16 年を除いたおよそ 20 年の間。

なので、種を明かせば「ぶっつけ本番で」外国人従業員相手に英語を始めたわけでもなかったのです。

最後に

最近よく目にする pressure(プレッシャー)という単語は press (加圧する) の派生形です。言い得て妙なる単語ですよ。